

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成19年5月17日(2007.5.17)

【公開番号】特開2005-275068(P2005-275068A)

【公開日】平成17年10月6日(2005.10.6)

【年通号数】公開・登録公報2005-039

【出願番号】特願2004-89292(P2004-89292)

【国際特許分類】

G 1 0 L 11/00 (2006.01)

【F I】

G 1 0 L 7/02 A

【手続補正書】

【提出日】平成19年3月22日(2007.3.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 7】

そして、C(ド)の音程からB(シ)まで12の音程ごとの区切りを1オクターブとするので、オクターブ4の周波数範囲は、C4の周波数範囲の最低周波数からB4の周波数範囲の最高周波数(オクターブ5の周波数範囲の最低周波数)までの、508.6Hz乃至1016.7Hzである。なお、本実施の形態において、周波数に関するfa[Hz]乃至fb[Hz]の記載は、fa[Hz]以上fb[Hz]未満を表すものとする。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 2 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 2 6】

上述した実施の形態では、C(ド)の音程からB(シ)まで12の音程ごとの区切りを1オクターブとしたが、1オクターブは、他の音程の区切りでもよい。例えば、F(ファ)の音程からE(ミ)の音程までを区切りとした場合も、周波数は対数の分布となるので、1オクターブということができる。

【手続補正3】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図13

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図13】

図13

